

●●●●●●●●●● 駒場野公園桜守活動の発足に向けて ●●●●●●●●●●

桜守活動とは、地域の皆様で地域の桜を守るボランティア活動のことです。桜景観を保全していくためには地域の皆様の参加が大きな力になります。

駒場野公園は、多くのボランティア団体の皆様が公園の維持管理に携わっています。そこで、桜の継続的な観察や次世代の苗木の育成、清掃・保全活動などの桜守活動を進め、地域の皆様と駒場野公園の桜を後世に伝えていきたいと考えています。

駒場野公園自然観察舎で開催している自然クラブの講座に桜守活動を取り入れ、皆様が桜と関わる機会を増やし、将来的に桜守活動の発足を目指していきます。

桜守活動の例

- A: 次世代の苗木の育成(桜の接ぎ木)
- B: 桜の花芽観察
- C: 保全活動(進入防止柵の作製)
- D: 桜の伐採材を活用した工作
- E: サクラマップの作成
- F: 普及啓発用の看板や樹名板の作製

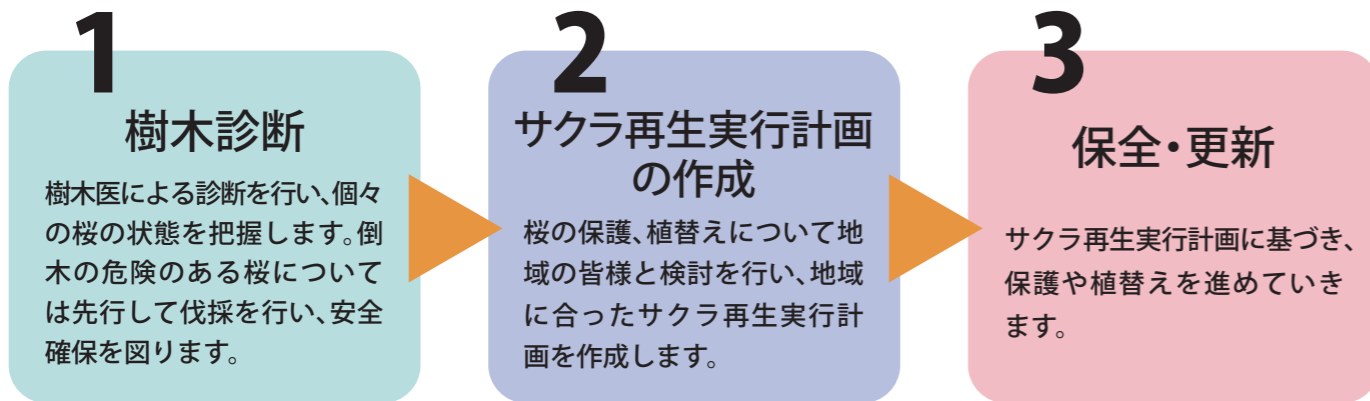


A 次世代の苗木の育成
(桜の接ぎ木)

B 桜の花芽観察

C 保全活動
(進入防止柵の作製)

●●●●●●●●●● 目黒の桜保全事業の流れ ●●●●●●●●●●



お知らせ

- 今回ご提案した駒場野公園サクラ再生実行計画(案)につきまして、皆様のご意見を伺いたいと思っております。下記のお問い合わせ先までご連絡いただけますと幸いです。募集期間は令和3年1月8日までとさせていただきます。
- 3月には、皆様のご意見を生かした駒場野公園サクラ再生実行計画をご提示する予定です。

お問い合わせ先
目黒区都市整備部みどり土木政策課
 電話:03-5722-9745 FAX:03-3792-2112
 メール:midoridoboku04@city.meguro.tokyo.jp



目黒の桜基金にご協力をお願いします

桜基金は、ふるさと目黒の桜のある風景を後世に伝えるための基金です。公園等の桜の保護・植替えなどに活用しています。詳しくは目黒区ホームページをご覧ください。みどり土木政策課までお問い合わせください。

URL: <https://www.city.meguro.tokyo.jp/gyosei/zaisei/kifu/kikin/sakurakikin.html>



ふるさとチョイス

駒場野公園サクラ再生実行計画(案)を作成しました

令和2年(2020年)11月にニュースレター第2号で駒場野公園の桜が抱える問題点と再生方針についてご案内し、皆様からご意見を募集しました。桜の将来像や今後の管理方法も検討しながらサクラ再生実行計画(案)を作成しましたのでお知らせします。本計画案について皆様のご意見をお待ちしています。



ケルネル田んぼの桜並木



駒場野公園の桜景観将来像 サクラのエリア

- ① コヒガン・ソメイヨシノ並木エリア
- ② 広場(低木~垂高木)エリア
- ③ 広場(高木)エリア
- ④ 八重桜並木エリア
- ⑤ 駒場野公園拡張部

春から秋、桜が織りなす駒場野公園の情景を将来に引き継ぎます。

① コヒガン・ソメイヨシノ並木エリア

日当たり・通風の良い傾斜地で、土が乾燥しやすく桜が衰退

公園のエントランスとして思い出の桜並木を復活します



- ・コフキタケ等の被害が拡大しているため、枯損木の根株は掘り取り撤去します。
- ・土壌水分保持と根の健全育成のため、植栽帯を広げ、現状土の消毒や園内でつくった落ち葉堆肥を活用した土壌改良をします。
- ・周辺の低木を含め、可能な限り保全していきます。



② 広場(低木～亜高木)エリア

高木が混在し日当たりの悪い環境条件で樹木が互いに生存競争をして桜が衰退

ジュウガツザクラを復活させ、低木の桜を楽しめるようにします

- ・二季咲きのジュウガツザクラを復活させ、秋にも桜を楽しめるようにします。
- ・目線の高さで桜を楽しめるよう小型の桜の品種をまとめた空間をつくります(オカメ、ヒナギクザクラ等)。
- ・桜の健全育成のために根回りは、公園の利用にも配慮して柵での保護を検討します。



(亜高木の例)



(低木の例)



(低木の例)

駒場野公園サクラ再生 実行計画現地調査会 (2020.10.24)

桜の景観を将来にわたって引き継ぐため、駒場野公園で現地調査会を開催しました。駒場野公園の桜の問題点、それらを改善するための将来像(案)について樹木医が説明し、ご質問・ご意見をいただきました。

今後も皆様のご意見を生かし、皆様とともに駒場野公園の桜を将来にわたって守っていききたいと思います。



③ 広場(高木)エリア

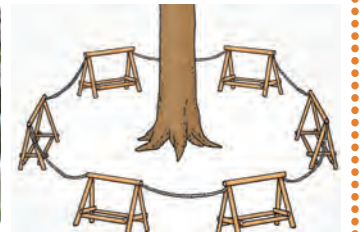
踏み固められた地面が裸地化、土壌が非常に固く乾燥して桜が衰退

人の利用と高木の桜の保護を両立します

- ・人の利用と桜の根の保護を両立させるため、可動式の進入防止柵の配置を検討していきます。



(高木の例)

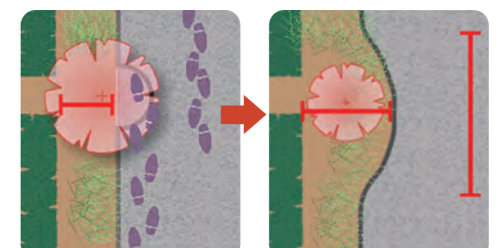


④ 八重桜並木エリア

風が吹き抜ける場所で強い風圧を受けることや、植栽帯に人が踏み込み土壌が締め固められ桜が衰退

カンザンに似た小型の品種「コウカ」で八重桜並木を維持します

- ・「コウカ」は亜高木の品種で病気に強く、花はカンザンとよく似ています。
- ・根張りが健全に育つよう根元周囲の植栽帯を広げ、人が踏まないよう縁石の設置や地被類の植栽を検討します。



⑤ 駒場野公園拡張部

人が踏み込み土壌が締め固められ桜が衰退

土壌改良を行い桜の保全に努めます

- ・踏圧による土壌の固結と根の生育不良を改善するため、根回り周囲に土を柔らかくする土壌改良(エアレーション等)や根の発育を促す施肥を行います。

